



**問** 航空自衛隊基地に関する道路の強靱化を検討すべきでは

航空自衛隊基地に関する道路の強靱化について、早急に検討すべきではないか。加えて、その道路に係る道路啓開計画はどうなっているのか。また、旧一志町は実弾射撃訓練場が所在していたこともあり、施設整備に様々な旧防衛庁予算を得ていたが、津市においても道路関係などの予算をもっと防衛省予算から獲得できないか。

**答** 国・県が定める耐震機能強化をすべき対象ではない

国の国土強靱化実施中期計画では緊急輸送道路上の橋梁の耐震機能強化が推進施策となっているが、航空自衛隊笠取山分屯基地および白山分屯基地への道路は県の計画において緊急輸送道路に位置付けられておらず、当該道路には県の既設道路橋の耐震対策整備方針における早期の耐震化を行う対象となる橋梁もない。また、令和7年2月に策定した津市道路啓開計画は、防災拠点である陸上自衛隊久居駐屯地周辺道路を優先的に啓開するルートに選定している。補助金の関係では防衛施設周辺民生安定施設整備事業を活用し、道路改良や舗装修繕等を行うための財源の確保に努めている。

その他の質疑・質問

- 長期間、水道の使用がない場所の使用者への対応について
- 津市公共施設等総合管理計画と地域振興施設について
- 一志地域における国土強靱化について
- 物価高対策をインセンティブとした電子郵便の導入について

▶  
航空自衛隊笠取山分屯基地（レーダーサイト）



出典：笠取山分屯基地HP



**問** 津市地域公共交通計画（案）について問う

地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする役割を果たすものである。人口減少の中で公共交通を維持するには、市民意識の底上げが必要と考えるが、市民のライフスタイルを変化させる取り組みについての考えは。また、交通結節点である津駅、大門・丸之内のまちづくりと連携した取り組みについてはどのように考えているのか。

**答** 公共交通の利用促進に向けた取り組みを進めていく

津市地域公共交通計画（案）では、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向へ自発的に変化することを促すための交通政策「モビリティ・マネジメント」の確立に向け、行政、交通事業者、関係機関と連携を図りつつ、さらなる公共交通の利用促進に向けた取り組みを進めていくこととしている。また、津駅周辺や大門・丸之内周辺地区を中心とした区間は、市内各地からバス路線が集中する重要な交通結節点であることから、津駅、大門・丸之内地区が先導的な役割を果たす拠点となるよう、それぞれのまちづくりと連携を図りつつ取り組みを進めていく。

その他の質疑・質問

- みんなで使おう文化ホールプロジェクト推進会議について
- 文化ホールの施設改修について
- 自転車の利用環境向上と市内における回遊性の向上に向けて
- シェアサイクル社会実験に関する現在の状況は
- 今後の取り組みについて

▶  
ポート、台数が増えて利用しやすくなったシェアサイクル。電動キックボードも登場

